

大震災に 備えて！

三月に発生した東日本大震災では、震源地近くの津波による被害や地震による建物の崩壊などが大きく報道されました。また震源地から遠く離れたところでも、液状化や大きな揺れにより建物の被害や家具の倒壊などが見られました。江戸川区内でも建物の被害が多く、区役所の煙突の倒壊危険や、鳥居や灯籠などの倒壊が報告されています。

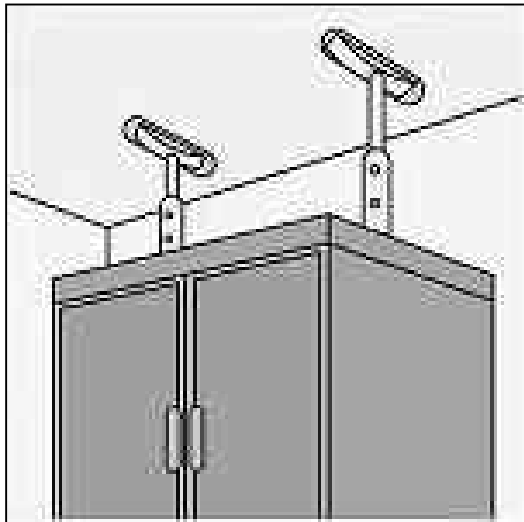
江戸川区役所煙突の倒壊危険
東小松川天祖神社鳥居倒壊
宮城県気仙沼市津波被害



家庭で地震に備える

家具類の転倒・落下防止対策のポイント

- ポール式器具を使用する場合、家具の下前面に入れるストッパー式器具と併用する。
- 壁に固定する場合は、強度のある部分（壁裏の間中のある位置）でL型金具を使用する。
- 二段重ねの家具類は、上下を平型金具などで、連結したうえで固定する。
- 吊り戸棚などの開き扉は、扉開放防止器具などで、収容物が飛び出さないようにする。
- ガラス扉のある家具にはガラス飛散防止フィルムを貼る。



地震時の安全な避難の心得

各自が地域の避難場所を確認し、避難ルート、避難ルート上の危険箇所などを確認しておく。

- ① 避難は隣近所協力し合って。
- ② 狭い路地、塀ぎわ、崖の下、川べりには近寄らない。
- ③ 大きな荷物を持ち出さない。
- ④ 非常持ち出し品は最小限に。
- ⑤ 自動車による避難はしない。
- ⑥ うわさ（デマ）に気をつける。

東日本大震災被災状況に関する講演会

平成二十三年六月十六日江戸川消防署一階防災教室に於いて、宮城県の被災現地へ視察に行った、災害時支援ボランティアの菅原喜東司氏を迎えて講演会が行なわれました。

三月十一日の東日本大震災被災状況をスライド写真などを使い、津波の悲惨さを語っていただきました。

ここは、過去（明治二十九年）にも大きな津波の被害を受けている地域で、津波の恐ろしさを聞き伝えるにより知っている人たちの生存確率が高かったとの事でした。お年寄りなどからの語り伝えと我々の体験を伝えていくことが重要だと話されておりました。